

カシノナガキクイムシによる ナラ枯れについて

ナラ枯れとは・・・

病原菌「**ナラ菌**」と、この病原菌を媒介する**カシノナガキクイムシ**(以下「**カシナガ**」)によって、ナラ類、シイ・カシ類等の樹木に起こる**伝染病**です。

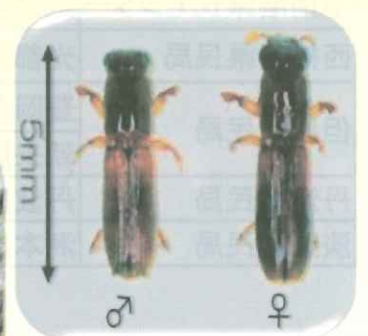
ナラ枯れ被害の特徴

- ①7月頃～9月頃に、葉が**赤くなり枯死**する
 - ②被害木の根元付近に**フラス**(木屑・虫糞が混ざったもの)が見られる
 - ③樹幹の大径部に**穿入孔**(直径1.5～2.0mm程度)が見られる
- ※被害は、**コナラ**、**ミズナラ**、**アベマキ**、**カシワ**、**クヌギ**、**シラカシ**、**アラカシ**、**クリ**、**スタジイ**などに発生します。**ブナ**、**イヌブナ**は枯れません。

根元にフラス
(木くず・虫糞が混ざったもの)



カシナガが穿入した穴
(直径1.5～2.0mm)

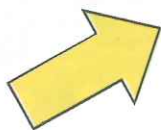


カシノナガキクイムシ
資料提供：森林総合研究所

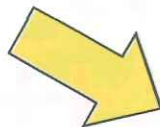
ナラ枯れ被害のメカニズム

6月～

健全なナラに飛来し、穿入する



6～9月

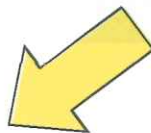
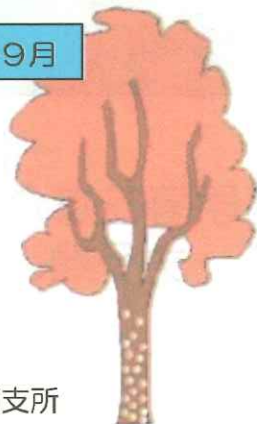


7～9月

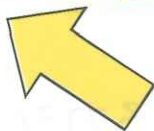


集合フェロモンによって集中的に穿入する
(マスアタック)

7～9月



枯れたナラから
飛び出していく



萎れ始めてから1～2
週間で、急激に枯れる

被害のメカニズム

資料提供：森林総合研究所関西支所